

「日医標準レセプトソフト」

ORCA Project

システムパッケージリリース情報 【Version 4.8.0】

2014年12月24日

公益社団法人日本医師会

改訂内容

11月27日 初版

12月24日 1-10 CLAIM 修正モジュールの適用を追加

1 パッケージリリースについて

1-1 注意事項

(1) データベースのバックアップについて

このパッケージへアップグレードするとデータベースの変更が行われます。

アップグレードを行う前には必ずデータベースのバックアップを行い、エラーが発生していないことを確認してください。

アップグレード中にエラーが発生した場合に、アップグレード前のバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。

また、グループ診療のためデータベース変更では、システム管理に記録されている医療機関 ID（アップグレード処理日に有効なもの）と異なる医療機関 ID を持つ行を無条件に削除します。

よって、アップグレードは正常に終了しても、システム管理に想定を超えた内容の登録があった場合、すべて行削除される可能性もあります。この場合もバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。

このような状態にあっては、サポートセンターへ問い合わせをされても、サポートの対象とは認めませんので悪しからずご了承ください。

(2) データベースセットアップ処理について

データベースのセットアップ処理を実施しないと日レセは起動できませんのでご注意ください。

(3) ユーザ認証方法の変更について

ミドルウェアによる認証 (glauth) からアプリケーションによる認証に変更しました。

アップグレード後、初回のデータベースのセットアップ処理を実施後にパスワードの設定処理を実施しないと日レセへ接続できませんのでご注意ください。

また、新規インストール環境で dbs を使用する場合についても別途パスワードファイルの設定が必要となります。

(4) 薬剤情報（お薬情報）の医薬品画像について

医薬品画像についてはファイルにより管理していましたが、テーブルへ格納するように変更しました。
アップグレード後、初回のデータベースのセットアップ処理を実施後に医薬品画像の取り込み処理を実施しないと薬剤情報（お薬情報）にイメージが表示されませんのでご注意ください。
なお、テーブルに格納するに当たりデータサイズの制限が発生します。
元の画像ファイルのサイズが概ね 300KB までとなりますので、現在使用されている画像ファイルのサイズをご確認ください。

(5) 定点調査設定情報について

定点調査で使用する設定情報についてはファイルにより管理していましたが、テーブルへ格納するように変更しました。
アップグレード後、初回のデータベースのセットアップ処理を実施後に定点調査設定情報取り込み処理を実施しないと定点調査報告データが送信できなくなりますのでご注意ください。

(6) 診療会計データのデータ見直しについて

同日再診3回目以降の診療会計データをより正確にするためデータの格納方法を変更しました。
アップグレード後、初回のデータベースのセットアップ処理を実施後に所定のバッチ処理を実施しないと、訂正、D O が正しく表示できない場合がありますのでご注意ください。

(7) 処理時間について

パッケージアップグレードによりテーブルの構造変更を行います。
変更を行うテーブル数も多いうえに対象のテーブルに格納されている行数が多い場合は、マシンの性能（スペック）にもよりますがかなり処理時間がかかると予想されますのでバージョンアップの計画を立てて行うようにしてください。
お昼の休憩時間等にパッケージアップグレードを行うということは避けていただいた方が無難です。業務に支障をきたさない時間帯に余裕をもって行ってください。

(8) バージョン 4.7.0 以前からアップグレードする場合について

各バージョンのシステムパッケージリリース情報も併せて参照してください。
本資料では、バージョン 4.8.0 における情報に限り説明を行っています。

1-2 日レセパッケージ

バージョン 4.8.0

対応 OS

- ・ Ubuntu 14.04 LTS(Trusty Tahr) 64bit
- ・ Ubuntu 12.04 LTS(Precise Pangolin) 64bit

1-3 クリーン・インストール

公式ホームページの「日医標準レセプトソフトのダウンロード・インストール」をご参照ください。

- (1) Ubuntu 14.04 LTS(Trusty Tahr)版

以下のページをご参照ください。

<http://www.orca.med.or.jp/receipt/download/trusty/>

- (2) Ubuntu 12.04 LTS(Precise Pangolin)版

以下のページをご参照ください。

<http://www.orca.med.or.jp/receipt/download/precise/>

1-4 アップグレード・インストール

アップグレード方法について説明します。

※Ubuntu 12.04 LTS(Precise Pangolin)版の場合を主な例とします。

- (1) データベースをバックアップします。

アップグレードの前には必ずデータベースのバックアップを行ってください。

バックアップの方法

ターミナルエミュレータから以下のコマンドを入力します。(以下同様)

```
$ sudo -u orca pg_dump -Fc orca > (バックアップファイル名)
```

- (2) スキーマチェックを行います。

現在のデータベースの状態をチェックします。

最新のチェックファイルによりチェック処理を行うため以下の方法により処理を行います。

```
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ tar xvzf jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ cd jma-receipt-dbscmchk
$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

処理が終了したらメッセージが表示されます。作業ディレクトリ

(jma-receipt-dbscmchk/)に jma-receipt-dbscmchk.log というファイルが作成されます。ファイルの内容を確認してください。

整合性に問題なしと出ればスキーマは問題ありません。

- (3) apt-line の追加をします。

日レセパッケージを取得するための apt-line を追加します。

[trusty の場合]

apt-line の設定ファイル(jma-receipt-trusty48.list)を公式ウェブサイトから取得し、/etc/apt/sources.list.d 以下に配置します。

[precise の場合]

apt-line の設定ファイル(jma-receipt-precise48.list)を公式ウェブサイトから取得し、/etc/apt/sources.list.d 以下に配置します。

```
$ sudo wget -q -O ¥  
/etc/apt/sources.list.d/jma-receipt-precise48.list ¥  
http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu/jma-receipt-precise48.list
```

(4) パッケージをダウンロードします。

```
$ sudo apt-get update  
$ sudo apt-get dist-upgrade -dy
```

ダウンロード中に中断されたなどエラーが発生していないことを確認します。エラーが発生し終了した場合は再度ダウンロードを行います。

(5) アップグレードします。

```
$ sudo apt-get install jma-receipt  
$ sudo apt-get dist-upgrade
```

※ver4.7.0以降はアップグレード後に日レセの起動を自動では行いません。

1-5 データベースセットアップ処理

- (1) 既存のデータベースのエンコーディングが UTF-8 の場合は設定ファイルを作成します。
「 /etc/jma-receipt/db.conf 」 というファイルを以下の内容で作成します。

```
DBENCODING="UTF-8"
```

注意

セットアップ処理スクリプトでは、データベースエンコーディングのデフォルトを EUC-JP とします。
既存データベースのエンコーディングが UTF-8 の場合は、設定ファイル作成は必須となります。

- (2) コマンドを実行します。

```
$ sudo jma-setup
```

1-6 パスワード設定処理

- (1) ユーザ認証をアプリケーションで行うようになりましたので、パスワードの設定処理を以下のコマンドにより実行します。
4.7.0 で使用していた glauth の認証データから日レセのテーブルへ移行を行います。

```
$ sudo -u orca /usr/lib/jma-receipt/bin/passwd_store.sh
```

1-7 dbs を使用する場合の認証について

ユーザ認証をアプリケーションで行うようになりましたが、dbs はこれに対応していません。そのため 4.8.0 を新規インストールされた環境で、dbs を使用するユーザは /etc/jma-receipt/passwd ファイルを新規作成する必要があります。

dbms への接続ユーザーは職員情報に登録されたユーザを使用するようにしてください。
なお、dbms の認証では、日レセ接続用に登録されたパスワードが使用されるわけではありません。以下のコマンドによりパスワードファイルを作成した時に設定したパスワードが使用されます。

4.8.0 で jma-receipt-dbs のインストール後にパスワードを設定して、
そのユーザーパスワードを連携側の方で使用されるように変更をお願いします。

パスワードファイル作成 [ユーザー (dbms) ・ パスワード (dbpassword)]

```
$ sudo touch /etc/jma-receipt/passwd  
$ sudo chmod 600 /etc/jma-receipt/passwd  
$ sudo chown orca:orca /etc/jma-receipt/passwd  
$ sudo -u orca gluseradd -file /etc/jma-receipt/passwd -p dbpassword dbms
```

1-8 医薬品画像取り込み処理

- (1) 医薬品画像データをテーブルへ格納して管理するようになりましたので、医薬品画像データの取り込み処理を実行します。
4.7.0 で使用していた薬剤情報テーブルに記録されている画像ファイルから日レセのテーブルへ取り込みを行います。

```
$ sudo -u orca /usr/lib/jma-receipt/bin/medphoto_store.sh
```

※画像ファイルがない、又はサイズ超過の場合など取り込みができなかった医薬品の情報は、`/var/log/jma-receipt/medphoto_store.txt` へ記録します。
※画像ファイルの取り込みをした医薬品については、薬剤情報テーブルの画像ファイル名を更新します（フォルダ名を削除しファイル名のみとします）。

1-9 定点調査設定情報取り込み処理

- (1) 定点調査のユーザ情報をテーブルに取り込む処理を実行します。

```
$ sudo -u orca /usr/lib/jma-receipt/bin/dasconf_store.sh
```

1-10 CLAIM 修正モジュールの適用

CLAIM モジュールに不具合があり、プログラム更新で対応できないため、手動で適用する必要があります。

```
$ wget https://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/receipt/outline/update/claim_update.tar.gz  
$ tar xvzf claim_update.tar.gz  
$ sudo bash claim_update.sh
```

1-11 日レセの起動

データベースセットアップ処理が終了しても日レセは自動で起動しませんので、以下のコマンドで起動します。

```
$ sudo service jma-receipt start
```

1-12 プログラム更新処理

日レセが起動したらプログラムの緊急修正情報があるか確認を行ってください。

緊急修正情報がある場合は、必ず業務メニュー画面より「プログラム更新」を行ってください。

1-13 データベーススキーマ変更の確認について

業務メニューからの「92 マスタ更新」を選択するとデータベースの構造バージョンを確認できます。

正常にアップグレード（インストール）が完了すると「構造 ver (白)」及び「構造 ver (ORCA)」の表示は次のようになります。

「S-040800-1-20141126-1」 ※平成 26 年 11 月 27 日現在

また、/var/log/jma-receipt/orca-db-install-4.8.0.log というファイルが作成されますので“ERROR”という文字が含まれていないか確認します。

```
$ grep ERROR /var/log/jma-receipt/orca-db-install-4.8.0.log
```

さらに、スキーマチェックを行います。

```
$ cd jma-receipt-dbscmchk  
$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

不整合が発生していないことを確認します。

1-14 マスタ更新データの提供について

パッケージをアップグレードしただけでは各種マスタは更新されません。必ず業務メニュー画面より「92 マスタ更新」を行ってください。

業務メニュー画面の「92 マスタ更新」を選択しマスタ更新管理一覧画面より「更新」ボタン(F12 キー)を選択すると更新処理を開始します。

提供されているマスタ更新データの最新情報は公式ホームページあるいは業務メニュー画面の到着情報をご確認ください。

マスタ更新処理プログラムは、/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ にログを書き出します。拡張子が ERR というファイルが空(0 バイト)でない場合は、対となるファイル名の拡張子 PRF というファイルの内容を確認します。

(/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ の 01 は医療機関識別番号です。)

1-15 診療会計テーブルのデータ整合処理

(1) 診療会計テーブルのデータ整合処理を実行します。

同一日の受診回数とカレンダーのデータ格納方法を変更しました。

以下手順により、処理を実施します。

①システム管理から「3002 統計帳票出力情報（月次）」で以下のプログラムを登録します。

設定内容

帳票名（任意）：診療会計テーブルのデータ整合

プログラム名：ORCBNOMIACCT

帳票パラメタ 1：処理区分 PSN1 必須

登録します。

②バッチ処理を実行します。

「52 月次統計」より①で登録したバッチ処理を実行します。

処理区分

0：対象の受診履歴のチェックリストを作成します。

このチェックリストに変更日の記載がある場合は、処理区分=1 としてデータベースの更新が必要となります。

1：データベースの更新を行います。

このバッチ処理は何度実行しても問題はありません。

エラーと表示がある受診履歴については自動修正ができませんので、診療行為入力から訂正で変更して下さい。

1-16 業務メニューの変更について

(1) マスターメニュー、業務メニュー等にある業務処理ボタンの配置を以下のように変更しました。

・マスタ登録メニュー

[201 プラグイン] をプログラム更新画面の [プラグイン]（F4 ファンクションキー）へ移動しました。

2 Version4.7.0 に対する修正プログラム提供内容

Version4.7.0 システムに適用させるため提供した修正プログラムについては、すべて当該バージョンに含まれています。提供したプログラムの修正内容については、公式ホームページあるいは業務メニュー画面の到着情報をご確認ください。

3 クライアントアプリケーションについて

3-1 利用可能なクライアントアプリケーション

バージョン 4.8.0 リリース版で利用可能なクライアントは以下となります。

・ glclient2

panda-client2 1:1.4.9+p5 以降

・ monsiaj

20141010 版以降

4 データベーステーブルスキーマ変更について

4-1 変更テーブル一覧

患者定期請求履歴	TBL_PTTEIKIRRK	データ型変更
定期請求管理	TBL_TEIKIKANRI	データ型変更
定期請求印刷情報	TBL_TEIKIPRT	データ型変更
定期請求履歴	TBL_TEIKIRRK	データ型変更
パラメタ	TBL_PARA	再作成
包括チェック	TBL_HKTSANTEI	プライマリキー名変更
包括診療コード	TBL_HKTSRYCD	プライマリキー名変更
患者メモ	TBL_PTMEMOINF	プライマリキー名変更
排他制御監視	TBL_LOCK	項目追加

4-2 新設テーブル一覧

一般名記載ログ	TBL_GENERIC_LOG
パスワード	TBL_PASSWD
SPAデータ	TBL_SPA_TMP
薬剤情報画像	TBL_MED_IMAGE
プラグイン	TBL_PLUGIN
プラグインメタ	TBL_PLUGIN_META
定点調査申請情報	TBL_DAS_CONF

4-3 テーブルスキーマ変更における周辺システムとの連携について

カラムの追加やカラムのデータ型を変更しているテーブルがいくつかあります。

日レセと連携を行う周辺システムをご使用の場合は、アップグレードする前に十分に動作確認等を行ってください。

特に ODBC 経由等でデータベースへアクセスされている場合はご注意ください。